

# 産業消防常任委員会会議記録

日 時 令和4年8月24日（水曜日）

午前10時 0分 開議

場 所 水戸市議会 第4委員会室

午前10時35分 散会

## 付託事件

- (1) 令和3年陳情第6号
- (2) 所管事務調査

## 1 本日の会議に付した事件

### (1) 陳情審査

- ① 令和3年陳情第6号 コロナ禍による米価下落の対策を求める陳情

### (2) 報告事項

- ① 令和4年度 偕楽園開園180年記念 第55回水戸の萩まつりについて (観光課)

### (3) その他

## 2 出席委員（5名）

委員長	飯田正美君	副委員長	後藤通子君
委員	渡辺政明君	委員	五十嵐博君
委員	安藏栄君		

## 3 欠席委員（1名）

委員 内藤丈男君

## 4 委員外議員出席者（なし）

## 5 説明のため出席した者の職、氏名

産業経済部長	長谷川昌人君	産業経済部参事	川崎幹男君
産業経済部参事兼観光課長	小林一仁君	商工課長	檢崎芳明君
農政課長	後藤俊之君	農業環境整備課長	三村隆君
農産振興課長	永盛光郎君	消防局長	大内康弘君
消防次長	勝村俊則君	消防局参事	箕輪重美君
北消防署長	石田宏一君	南消防署長	猿田純夫君
消防総務課長	大信成人君	火災予防課長	河原井豊君
消防救助課長	高嶋和巳君	救急課長	栗原政人君

農業委員会  
事務局 長 横 山 英 雄 君

農業委員会  
事務局 次 長 吉 川 正 浩 君

6 事務局職員出席者

議 事 課 長 大 嶋 実 君

書 記 大 内 し お り 君

午前10時 0分 開議

○飯田委員長 おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから産業消防委員会を開会いたします。

議事に先立ちまして、内藤委員が所用のため、宮田公設地方卸売市場長が病気療養のため欠席との連絡がございましたので、御報告いたします。

これより議事に入ります。

なお、本日は、定例会前の委員会ではございますが、第3回定例会に提出を予定している案件に関わる報告事項はございませんので、御了承願います。

初めに、陳情審査を行います。

当委員会に付託され継続審査となっております、令和3年陳情第6号 コロナ禍による米価下落の対策を求める陳情を議題とします。

それでは、本陳情につきまして、御意見等がございましたら発言願います。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○飯田委員長 それでは、本陳情につきましては、引き続き継続審査といたしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○飯田委員長 御異議なしと認め、継続審査といたします。

なお、本陳情につきましては、当委員会から議長に対しまして閉会中継続審査の申出を行うこととなりますので、御了承願います。

以上で陳情審査を終わります。

次に、報告事項の説明を行います。

それでは、令和4年度 偕楽園開園180年記念 第55回水戸の萩まつりについて、執行部より説明願います。

小林参事兼観光課長。

○小林産業経済部参事兼観光課長 それでは、観光課提出の資料に基づきまして、偕楽園開園180年記念第55回水戸の萩まつりにつきまして御説明を申し上げます。

第55回を迎えます水戸の萩まつりにつきましては、コロナ禍ではございますが、四季観光の一環として日本遺産である偕楽園の魅力とともに、本市のイメージアップを図るということで、感染症対策をしっかりと講じた上で開催をしてみたいと考えております。

4の期間でございますが、9月3日土曜日から25日日曜日までの23日間にわたり開催をしてみたいと思います。

参考といたしまして、萩まつりのチラシをお手元にお配りしておりますので、後ほど御参照いただければと思います。

次に、6の行事につきましては、中秋の名月である9月10日の土曜日にあわせまして、(1)の表に記載のとおり、水戸黄門愛好会の皆様などによる来園者のお出迎えから始まり、野点茶会、キャンドルづくりや

夜の偕楽園を散策する偕楽園ナイトウォークなど、様々なイベントを開催し、まつりへの誘客を図ってまいります。

恐れ入りますが、裏面のほうを御覧いただきたいと存じます。

(2)のその他まつり期間中の行事といたしまして、萩のライトアップのほか、萩まつりや偕楽園の魅力を効果的に発信していくため、インスタグラムへの投稿を募集するキャンペーンなどを実施してまいります。

7の広報でございますが、ポスター掲示のほか、ホームページやSNSなども積極的に活用しまして、PRに努めてまいります。チラシにつきましては、キャンドルづくり等体験の割引券つきとして作成し、さらなる誘客を図ることとしております。

次に、8の今回の見どころなどにつきましては、まず県の御協力の下、期間中、全日程にわたりまして東門、表門の開園時間を21時まで延長の上、萩をライトアップいたします。そして、夜の偕楽園の雰囲気をお楽しみいただければと考えております。

また、10日土曜日、中秋の名月には、新たな試みといたしまして、若い世代の誘客ということで、特に若い女性に人気のインスタグラムでのPRを促す魅力的な写真や動画の撮り方などを学べる講座を実施するほか、園内の見晴広場から天体望遠鏡で中秋の名月を鑑賞する天体観測を実施する予定でございます。

なお、祭りの開催に当たりましては、県のガイドラインを遵守しながら、下段にも記載しておりますとおり、手指消毒や会場内でのマスクの着用の徹底、それからイベントを開催する10日におきましては、東門、表門で検温を実施するなどの対策を講じまして、安全で安心な祭りの運営に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

説明につきましては以上でございます。

**○飯田委員長** 内容について、何か御質問等がございましたら発言を願います。

五十嵐委員。

**○五十嵐委員** 御説明ありがとうございました。

55回目を迎えるわけですが、これまで54回やってきて、やはり1回目から、また10回、20回、節目でいろいろ変わってきていると思うんですけども、その辺のもうこれは落ち着いてきたメニューなんだろうかね。新しいものについて少し詳しく御説明いただければと思いますので、よろしく願います。

**○飯田委員長** 小林観光課長。

**○小林産業経済部参事兼観光課長** ただいまの五十嵐委員からの萩まつりのコンテンツの部分に関する御質問かと存じますが、これまで回を重ねてまいりまして、今年で55回目の開催という発言のとおり、歴史を積み重ねている祭りでございます。これまでも庭園でのイベントということで、お茶会とかという部分はある意味セットでこれまでも繰り返し実施していき、好評をいただいております。また、今年度もちょっと実施がかなわなかったんですが、スズムシの放流というものもこれまで中秋の名月とともにセットということで取り組んでまいりましたが、ちょっと団体様の意向もありまして、今年も実施ができませんでした。

そういった中で、若い世代の来園を促すというところに今私ども力を入れておりまして、今回、この6の行事の(1)に記載の表の新と書いてあるコンテンツを盛り込むことにいたしました。まず、きつねの面づくり体験でございますが、これは今年のゴールデンウィークに弘道館周辺で実施しました水戸ノ夜市のイベン

トで初めて開催したイベントでございますが、これがキツネの型の顔半分のお面に好きな色を塗っていただいたり、ビーズで装飾をしていただいたりして、着物の着つけとセットでお子様などに大変好評のイベントでございます。今回も親子連れ、若い世代を取り込むということで、この偕楽園では初開催ということで盛り込んだところでございます。

また、中段の部分でございますテクニカルインスタ講座、これが説明でも申し上げましたとおり、インスタグラムへの投稿というところで拡散を狙いまして、特に若い世代の方が今インスタグラムのほうを利用されているということで、そちらのインスタグラムに投稿して賛同をいただいている講師を招きまして、効果的な動画の編集とか色彩の調整の具合とか、そういった部分を写真技術のようなものを学んでいただく講座を実施することにいたしました。

また、表の一番下でございます天体観測でございますが、これも初開催ということで、親子連れでできるだけお越しただけたらということで企画しましたが、中秋の名月にあわせて月のクレーターとか、そういったものを御覧になって、日本三名園である偕楽園から月を眺めていただくという取組を実施したところでございます。

今後につきましても、こういった新たな行事内容も織り交ぜながら、そして今までやってきた歴史のあるイベントも継続しながらミックス型でいろいろな世代の方を取り込んでいきたいというふうに考えております。よろしく申し上げます。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

渡辺委員。

○渡辺委員 55回を重ねるこの萩まつりですが、今御報告があったとおり、内容も充実して、すばらしいなというふうに感じております。これは私のちょっと要望ということで話しておきたいんですけども、それで実践してきていただいているんで、さらに私は水戸の観光行政の個性化を推進するためにも、この偕楽園と弘道館周辺の一張一弛の考え方をしっかりもう一度、皆さん方も勉強していただいていると思うんですが、認識を新たにしてもらいたいんですけども、こちらの今御説明があったとおり、3世代が楽しめるような事業内容が盛りだくさんになっていると思うんですね。一張一弛でいけば、こっちがいわゆる市民とか、そういう人たちが楽しめる、共に楽しもうという、そういう趣旨で偕楽園ができているというようなことを踏まえれば、観光の戦略に合致した戦術だなというふうに感じております。したがって、一張のほうのいわゆる張りつめた教育の場という弘道館周辺はそういう観光としてよりも、水戸の教育の大事ないわゆる本筋の場所であるというようなことで、その辺のところも観光行政の中でどう組み込んでいくのかをしっかりと受け止めながら、斉昭公の考えたこの一張一弛の実現、実践に向けてさらに御尽力をいただければというふうなことを要望しておきます。

以上です。

○飯田委員長 安藏委員。

○安藏委員 2点ちょっとお聞かせ願いたいと思います。

1点目は、茶道、野点茶会、これは何か以前は茶道の恐らくいろんな流派があって、あそこでやってたかなという思いがあります。そして、この大成女子高等学校の茶道部で、ちょっと去年のことを覚えてないん

ですけれども、今年からか、それとももうずっと大成の茶道部のほうでやっているのかなということをお聞きしたいと思います。

あともう1点、さっき五十嵐委員から話がありましたスズムシの件なんですけれども、先ほど課長のほうから団体の意向という話が聞こえたんですけれども、あそこでスズムシの音色を聞きながら萩の花という、本当に風情がある話だと思うんですけれども、この団体の意向というのはどういう意味があるのかちょっとその2点、お聞かせ願いたいと思います。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林産業経済部参事兼観光課長 ただいまの安藏議員の御質問にお答えをいたします。

この萩まつり、梅まつりでも実施しておりますが、この野点茶会のほうでございますが、茶道連合会さんがこれまでもずっとこちらで野点茶会のほうをやっていたいただいているんですが、今回、日程の調整がつかせんで、連合会さんのほうから辞退を申し出たという経緯がございました。私どもも、やはり野点茶会は何とか実現したいということで、市内の高校のほうに当たりまして、大成女子高の茶道部の方がお引き受けただけだということで、今回実施に至ったところでございます。引き続き次年度も連合会の皆様を軸にこの野点茶会のほうは展開していくということを考えております。

それから、2点目のスズムシの放流の件でございますが、これまで何十年にもわたってスズムシの放流をしていただいておりますが、団体様の年齢の部分でやはり高齢化が進んでいるということで、会員のほうも減少しているというお話もいただいております、なかなかまとまった人数で実施することがかなわなくなったということで、平成30年からもう休止といたしますか、こちらで実践はできていないというところで、今回も打診はさせていただいているんですけれども、残念ながら諦めざるを得ないというような状況でございました。

○飯田委員長 安藏委員。

○安藏委員 分かりました。ちょっと私も勘違いして、スズムシの団体の意向という、その団体というのは、俺、もしかするとスズムシアレルギーじゃないけども、音のほうの何か感覚で、そういう異論があったのかなと思ったんですよ。ただ、それがスズムシを繁殖させてという部分で、スズムシを飼っている人、それを繁殖させて、あそこへ放つ、その部分の高齢化が進んじやってできないという意識でいいですね。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林産業経済部参事兼観光課長 委員の御意見のとおり、団体さん、構成メンバーのほうの御都合ということで、メンバーに入っている方が全て高齢化が進んでしまって、後継者のほうがということでございます。

○飯田委員長 安藏委員。

○安藏委員 はい、分かりました。これ、まさに高齢化、後継者の話ということは、難しいんだか何だか分からないけども、やはりスズムシはそんなに難しい技術は要らないのかなと私、勝手に思っているんですけれども。そういう部分で、やはりずっと継続してきた萩とスズムシの関係というのは、やっぱり何か後継者育成じゃありませんけども、そういう部分でできるものがあれば、高校生でもできると思うんだよね。そういう部分で前向きな取組ができればいいと思いますんで、ちょっと要望しておきます。ありがとうございました。

○飯田委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 すみません、ちょっと2点ほどあるんですけど、1つは、最近のイベントというのは日曜より土曜日のほうが多いのは承知しているんですけども、今回、この9月10日の土曜日がメインということで、これはもうある程度何年か前からそういう傾向なのか、それともここに来て土曜日になったのかという、その土曜日になった理由と、10日が一番ベストだったのか、その相手もあると思いますので、その辺のちょっといきさつ。

もう一つは、このチラシ、すばらしいんですけど、よく来る人はいいんですけど、ぱっと見ると、3日から25日までやってますよということで、ともすると、この10日のほうのを見ないと、せっかくやっているのに、何かインパクトがちょっと、10日はメインでやっているよというのをちょっとその辺のもう少し張りがついたような、分かりやすくできたらいいなど。2点目は要望なんですけど、1点目のほうをちょっとお聞かせいただいて終わりたいと思います。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林産業経済部参事兼観光課長 ただいまの五十嵐委員からの御質問にお答えいたします。

昨年度の萩まつりはあいにくと緊急事態宣言等が発令されておりまして中止になってしまいましたが、これまでも中秋の名月にあわせたイベントというのを軸に実施してまいりました。最近では中秋の名月にあわせたイベントのほかは、濃淡といいますか、集約という形でやらせていただいております。今年についてはこの9月10日が今年の中秋の名月に当たるということで、イベントのほうを集約させていただいたところでございます。よろしく願いいたします。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

ないようですので、次に、その他に入ります。

委員より何かございましたら発言を願います。

渡辺委員。

○渡辺委員 この間の常任委員会の折にですね、ちょっと救急車の救急隊員の疲弊とか疲労などについて質問したところで、ついこの間、テレビニュースをちょっと見てたら、救急車と隊員がコンビニに止めて、何かトイレに行ってますなんていうカードを置いてトイレに行っている。また、きっと休息、休憩も含めてなのかな、そういうニュースが流れていたんですよ。まさしく今コロナがこれだけ爆発的に本当に自分たちの身近なところで感染したという声を聞いたり、また、異常な温度で熱中症の人がいたりで、今までに時期じゃない通常の本当に具合の重篤な方なんかの救急車の呼ぶ回数も増えているんじゃないのかなというようなことで、予備の救急車があるならば、それを日常的に組み込んで、隊員さんの疲労度とかですね、また福利厚生の部分でもしっかり私はもう一度見直すべきじゃないんですかというようなことを消防のほうに要望、お願いしたわけなんですけども、その後はどんなふうになっているのかちょっとお答えいただければと思います。

○飯田委員長 栗原救急課長。

○栗原救急課長 ただいまの渡辺委員の御質問にお答えいたします。

非常用の救急車、1隊も救急隊と編成いたしまして、現在業務を行っているところでございます。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 救急車、全部で12台と言ってたよね、この間ね。それで稼働しているのが9台、今までは。ですから、あと2台と、あともう1台は何か違う救急車だったんだよね。この間のお話だとね。その2台の予備、いわゆる車検に出す、そういうときに使うための予備として取っているのを、こういう緊急事態なんだから使わない手はないだろうと。ましてや救急の資格を持っている方がいるならば、そういうシフトをもう1台、2台増やせば、今まで過重な負担を強いられていたかもしれない救急隊員も幾らか休息の時間とかが取れるんじゃないかというようなことで質問したわけですよ。2台のうち1台を配備したんですか。

○飯田委員長 栗原救急課長。

○栗原救急課長 ただいまの御質問にお答えします。

そのとおりで、2台のうち1台を非常用の救急車を救急隊として配置しております。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 この間のニュースのときにですね、その映像と同時にちょっとちらっとコメントとして入っていたのが、要は救急車が配置されている消防署ですよ。そういうところでもまちの中とか、そういうところはすごいんだって。多いわけですよ。それはそうですよ。定住人口が多いわけだから。例えば郊外のほうの救急車が置いてあるところという、やっぱり頻度としては少ない。そうすると、その忙しさが非常に偏っているというようなこともあわせて何かコメントがあったわけですよ。2台のうち1台だけをシフトに入れたということは、これ、どこの消防署に配置したの、それとも自由に使えるという、何と言うんですか、緊急的に待機させといて、常駐じゃなくて行ったりするのか、どういう配置の仕方なんですか。

○飯田委員長 栗原救急課長。

○栗原救急課長 ただいまの御質問にお答えします。

配置先のほうは駅南の南消防署のほうに配置しております。それで、本部の人員のほうを救急の資格を持っている方を、台数が9台とかになってきますと、そちらに詰めさせて、今対応している状況でございます。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 緊急だから9台が出払っちゃうというときは余りないとは思うんだけど、いざ鎌倉というときのためのいわゆる予備が今までは車検とか、そのためだけの予備だったものを、そういうぐらいの頻度で救急の連絡が入ってくる時期だよ、ここのところね。またコロナも増えてきているということなんでね。だから、一番俺が心配しているのは、普通の重篤な患者さん、今までにないコロナとか、例えば熱中症じゃないような方とか、交通事故で本当に今すぐ行かなくちゃいけないとかという部分に支障が出たりすると困るなということが1点あったんですね。

ですから、その1台を予備として待機させておくということは消防の隊員にとっても安心感が担保できますよね。ぎりぎりでやっているんじゃないで、1台予備が待機しているんだというようなことで。その予備が今度1台あるということによって、現在の9台で忙しい消防署があるでしょう。まちなかだったら、もう頻繁にがんがん出なくちゃならないとかだけでも、その消防の救急隊員のほうの、例えば休息とか、そういうものはゆとりが出てきたんですか。この間のニュースではトイレに行く時間もないなんていうような状況



だったんですよ。それでもう駆け込んでいたものね、コンビニのトイレに行くのにつて。その辺の部分で今  
どういう環境になっているのか。現場を見ているんでしょうから、隊員の声も聞いていると思うんで、その  
辺のところをちょっとお聞かせください。

○飯田委員長 栗原救急課長。

○栗原救急課長 ただいまの御質問にお答えします。

現場の隊員はですね、病院に到着したり、そういうときにトイレに行ったり、そこでちょっとお水を飲ん  
だりという感じで取っております。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 俺は例えの話で言ったんで、要は大事なのは、そうやってしっかり人命を守るという救急隊員  
がやっぱり本部のほうはちゃんと我々のそういう厳しい環境を見てくれているんだなと、そういうふう  
に持っていってもらわないと、ただ単に予備があったから云々じゃないんだよね。本当に疲れ果ててしま  
うことがないように、しっかり現場を見て、私はシフトを組むべきであって、要はトイレ云々もあるかも  
しいけども、やっぱりちょっとはあの救急車のサイレンの音が頭から抜けるような時間も彼らにとつては  
欲しいのかなというふうに思ってます。その辺のところなんだよね、俺が一番お話ししたいのは。今最前  
線でやっている、別に救急だけじゃない、消防も一緒に出ているよね。消防車も出ているからあれなん  
でしょうけども、そういうような部分をしっかり受け止めていただいて、せっかく予備が配置できた  
ならば、その予備がしっかり活かされるようなシフトづくりと勤務環境がさらに救急隊員にとつて、  
ああ、よかったなと、上はちゃんと見てくれているんだなと思えるような体制づくりをして  
いただきたいというふうに私は思っております。何しろ最前線にいる方たちはね、本当に大変だ  
と思いますよ。昨日ちょっと太田街道で事故があったんですよ。2台で前1台はペしゃんこにな  
っちゃっていて、救急車、消防車のほうが先に来ていたのかな。直後だったんですけどね。いや、  
大変だな、これ熱中症だの、滑った転んだ、あっちへ行ったり、向こうへ行ったり、今度は1  
台が潰れちゃっていたからね。きっと大きな事故だと思って、これけがもしているななんて  
思ったんで、やはりそういう現場で苦勞している方たちの立場に立って、やっぱり管理者とし  
てはしっかり受け止めていただきたいというようなことを再度要望しておきます。もう1台予備  
の車もあるんだから、そういうのも含めてトータル的に体制づくりをしてください。今緊急  
なんだよね。緊急のときに緊急的に使わなかったら意味がないというふうに思ってますので、  
改めて再度お願いをしておきます。

以上です。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

ないようですので、次に、この際、水戸市総合企画審議会委員の選出についてを議題といたします。

お手元に当委員会の各種役員の一覧表を配付いたしましたので、御確認願います。

本件につきましては、市議会議員から4名の委員を選出することになっておりますが、さきの代表者会議  
におきまして、各常任委員会から1名を選出することに決定しております。

それでは、ただいまから選出を行いたいと思いますが、どのような方法で行うか御意見等がございま  
したら願います。

安藏委員。

- 安藏委員 暫時休憩していただいて、委員で相談したほうが良いと思うんですけども、いかがでしょうか。
- 飯田委員長 じゃ、暫時休憩いたします。

午前10時32分 休憩

---

午前10時34分 再開

- 飯田委員長 それでは、再開いたします。

ただいま協議しました結果、後藤副委員長に審議会委員をお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 飯田委員長 それでは、後藤委員が水戸市総合企画審議会委員に選出されました。

本件については終わります。

それでは、以上をもちまして本日の産業消防委員会を散会いたします。

御苦労さまでした。

午前10時35分 散会